

平成14年度 公共事業再評価調書（担い手育成基盤整備事業）

（事業着手後 5年以上経過し継続中の事業）

評価確定日	平成14年11月27日
所管部課名	農林水産部 農地整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																														
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果																															
【地区名】 かねにしせいぶ 金西西部 【所在地】 仙北郡 仙南村	【事業の目的】 土地利用型農業の確立を図るため、担い手農家等による大規模な農業経営が行われる見込みのある地域で大区画の高生産性ほ場整備を実施し、生産性の向上と生産コストの低減を図るとともに、連担的農地の集積を促進し、望ましい担い手の育成・確保を図る。 【総合計画上の位置付け】 「あきた21総合計画」では、国際化の急激な進展に対応しうる生産性の高い農業とこれを支える活力ある農村を確立するため生産基盤であるほ場の整備をH12～22の11年間に14,500ha整備率76%を目標に整備する。特に、計画前期のH12～14の3年間に4,500haを整備する。	【事業の経緯】 H9 事業採択 H10 工事着手 (H14 面工事完了予定) (H17 換地処分、完了予定) 【進捗状況】 <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>全体</th> <th>H14まで</th> <th>進捗率</th> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>282.4ha</td> <td>282.4ha</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>3,479</td> <td>2,536</td> <td>72.5%</td> </tr> </table> 【長期継続の理由】 予算の制約に加え、地区が大規模なことから期間を要している。	区分	全体	H14まで	進捗率	区画整理	282.4ha	282.4ha	100%	事業費	3,479	2,536	72.5%	【社会経済情勢の変化】 農産物の輸入自由化や米価の下落により、農家の経営が厳しさを増していることから生産コストの低減が強く求められている。このため、本事業により農地の基盤を早急に整備し、担い手等に農地の集積を図るとともに、労働時間の短縮や営農経費の節減により、生産性の高い営農を進めることが急務である。 【地元の意向】 平成10年4月に仙北管内20農協による合併がなされ、「秋田おぼこ」Aが発足し、水稲のほか畑作物などの生産性向上と農業指導が強化された。仙南村では、転作面積の拡大に伴い機械作業が容易な畑作物として「ひまわり」を選定し、その作付を整備されたほ場約2haに試験的に作付するなど、大区画ほ場を活用する取り組みが行われており、生産コストの低減や複合経営の確立を図るため、事業の早期完成を強く望んでいる。	【整備効果】 ほ場整備事業を契機として地区内に15団体の生産組織の設立が予定され、農業機械の共同化や基幹作業の省力化などが図られ、低コスト化が促進すると期待されている。また、仙南村では全村の農家からサンプルした「あきたこまち」の食味値を測定し、一定値(75.0点)以上に引き上げるための栽培技術指導を行い、着実に成果を上げており、仙南村産米のブランド化を推進しており、本地区においても食味値の引き上げに取り組んでいる。 担い手経営面積 担い手農家 1戸 生産組織 (15組織) <table border="1"> <tr> <th>地区面積</th> <th>担い手経営</th> <th>シェア</th> </tr> <tr> <td>285.5ha</td> <td>78.1ha</td> <td>27.4%</td> </tr> </table> 【費用の変更】 面積減に伴う事業費減。 【効果の変化】 面積減に伴う効果減。 【費用対効果】 <table border="1"> <tr> <td>計画時</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td>再評価時</td> <td>1.04</td> </tr> <tr> <td>採択基準</td> <td>1.00</td> </tr> </table>	地区面積	担い手経営	シェア	285.5ha	78.1ha	27.4%	計画時	1.05	再評価時	1.04	採択基準	1.00	【事業進捗の見込み】 H16年度までに主要工事を終え、H17年度に補完工事や換地処分を実施し完了する予定である。 3 コスト縮減や代替案立案等の可能性の観点 【コスト縮減の可能性】 現況水路に設置されているコンクリートフリームを宅地境や地区境の水路に再利用するなどコスト縮減に努めながら事業の進捗を図っている。 【代替案立案の可能性】 なし。						
区分	全体	H14まで	進捗率																																
区画整理	282.4ha	282.4ha	100%																																
事業費	3,479	2,536	72.5%																																
地区面積	担い手経営	シェア																																	
285.5ha	78.1ha	27.4%																																	
計画時	1.05																																		
再評価時	1.04																																		
採択基準	1.00																																		
【事業内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>諸元</th> <th>計画時</th> <th>再評価時</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業量</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>285.9ha</td> <td>282.4ha</td> <td>3.5ha</td> <td>宅地境の変更に伴う減</td> </tr> <tr> <td>事業費(百万円)</td> <td>3,637</td> <td>3,497</td> <td>140</td> <td>面積の減による</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H9～H13</td> <td>H9～H17</td> <td>4年</td> <td>予算上の制約・大規模地区による</td> </tr> <tr> <td>受益面積</td> <td>285.9ha</td> <td>282.4ha</td> <td>3.5ha</td> <td>宅地境の変更に伴う減</td> </tr> </tbody> </table>		諸元	計画時	再評価時	増減	理由等	事業量					区画整理	285.9ha	282.4ha	3.5ha	宅地境の変更に伴う減	事業費(百万円)	3,637	3,497	140	面積の減による	工期	H9～H13	H9～H17	4年	予算上の制約・大規模地区による	受益面積	285.9ha	282.4ha	3.5ha	宅地境の変更に伴う減	【環境対策】 「農業農村整備環境対策指針」に基づき保全すべき環境を確認の上事業推進している。本地区では、環境関連法令に係わる事項は特になし。			
諸元	計画時	再評価時	増減	理由等																															
事業量																																			
区画整理	285.9ha	282.4ha	3.5ha	宅地境の変更に伴う減																															
事業費(百万円)	3,637	3,497	140	面積の減による																															
工期	H9～H13	H9～H17	4年	予算上の制約・大規模地区による																															
受益面積	285.9ha	282.4ha	3.5ha	宅地境の変更に伴う減																															
再評価の結果		対応方針(案)及びその理由		公共事業評価専門委員会の意見																															
継続・中止		【対応方針(案)】 平成17年度に換地処分を実施し、完了を図る。 【理由】 平成13年度までに完了した面工事区域については、既に作付が行われている。また、H14年度までには面工事を終え、その後、地元要望に応えるための補完工事を実施することとしており、事業を推進する上で支障もなく、平成17年度に換地処分を実施し完了することが可能である。		継続は妥当と認める。																															